

増泉 春日神社

地鎮祭

式次第

令和元年



地鎮祭 式次第 (式次第概略)

<p>一、開式 <small>かいしき</small></p>	
<p>一、修祓 <small>しゅばつ</small></p>	<p>(神職が神前にて祓詞を奏上します)</p>
<p>一、降神の儀 <small>こうしんぎ</small></p>	<p>(神職が神前にて降神詞を奏上します)</p>
<p>一、献饌 <small>けんせん</small></p>	<p>(神職が御神酒の蓋を開け神様へ献じます)</p>
<p>一、祝詞奏上 <small>のりとそうじょう</small></p>	<p>(神職が地鎮祭祝詞を奏上します)</p>
<p>一、四方祓いの儀 <small>しほうはらぎ</small></p>	<p>(神職が土地をお清めします)</p>
<p>一、地鎮の儀 <small>ぢちんぎ</small></p> <p><small>くわ すき せつけい せこう</small> 鍬・鋤が設計・施工</p> <p><small>かま せしゆ</small> 鎌が施主</p>	<p>(司会進行をお願いします)</p> <p>鎌入れの儀 施主</p> <p>鍬入れの儀 設計・管理</p> <p>鋤入れの儀 施工・管理</p>
<p>一、鎮物理納の儀 <small>しずめものまいのうぎ</small></p> <p>一、参列者玉串奉奠 <small>さんれつしやたまぐしほうてん</small></p> <p>複数名参拝の場合は 事前に人数確認</p>	<p>(神職が鎮物を砂山に埋めます)</p> <p>(司会進行をお願いします)</p> <p>施主</p> <p>設計</p> <p>施工</p>
<p>一、撤饌 <small>てつせん</small></p>	<p>(神職が御神酒の蓋を閉じ徹します)</p>
<p>一、昇神の儀 <small>しょうしんぎ</small></p>	<p>(神職が神前にて昇神詞を奏上します)</p>
<p>一、閉式 <small>へいしき</small></p>	

地鎮祭 典儀例 (台詞例)

<p>一、開式 <small>かいしき</small></p>	<p>「ただ今より 地鎮祭を執り行います。」</p>
<p>一、修祓 <small>しゅばつ</small></p>	<p>(神 職が神前にて二度お辞儀をした頃) 「ご一同様、ご起立の上ご低頭下さい。」 <small>いちどうさま きりつ うえ ていとうくだ</small> (祓 詞奏 上後) 「おなおり下さい」 <small>しんしよく おおぬさ</small> (神 職が大 麻を持ち参列者の前に立つ頃) 「ご一同様のお祓いです。軽く頭をお下げ下さい。」 <small>いちどうさま はら</small> <small>うえ ちやくせき</small></p>
<p>一、降神の儀 <small>こうしんぎ</small></p>	<p>(神職が神前にて二度お辞儀をした頃) 「ご一同様、ご起立の上ご低頭下さい。」 <small>きりつ うえ ていとう</small> (神職の警蹕「おおー」の後) 「おなおりの上ご着席下さい。」 <small>うえ ちやくせき</small></p>
<p>一、献饌 <small>けんせん</small></p>	<p>「神職が御神酒の蓋を開け神様へ献じます。」 <small>おみき ふた あ かみさま けん</small></p>
<p>一、祝詞奏上 <small>のりとそうじよう</small></p>	<p>(神職が神前にて二度お辞儀をした頃) 「ご一同様、ご起立の上ご低頭下さい。」 <small>きりつ うえ ていとう</small> (祝詞奏上後) 「おなおりの上ご着席下さい。」 <small>うえ ちやくせき</small></p>
<p>一、四方祓いの儀 <small>しほうはらいぎ</small></p>	<p>「神 職が土地の四方をお清めます。ご参列の皆様はしばらくお控え下さい。」 <small>しんしよく しほう きよま</small> (鎌鋏を行う方に白手袋を渡す) <small>ひか</small></p>
<p>一、地鎮の儀 <small>ぢちんぎ</small></p>	<p>「草刈 初の儀を行います。」 <small>くさかりぞめ</small> 鎌 入れの儀 施主 <small>かまいれ</small> 「次に穿 初の儀を行います。」 <small>うがちぞめ</small> 鋤 入の儀 設計 <small>くわいれ</small> 鋤 入の儀 施工 <small>すきいれ</small></p>

	(終えて手袋の回収)
一、鎮物理納の儀	「お清めた鎮物を土地に埋納します。」
一、参列者玉串奉奠	<p>「次にご一同様に玉串を奉りご拝礼いただきます。」</p> <p>「施主様</p> <p>ご関係の方はご起立いただき、その場で代表表に合わせてご一同様に拝礼下さい。」</p> <p>「地権者代表様</p> <p>ご関係の方はご起立いただき、その場で代表に合わせてご一同様に拝礼下さい。」</p> <p>「設計様</p> <p>ご関係の方はご起立いただき、その場で代表に合わせてご一同様に拝礼下さい。」</p> <p>「施工</p> <p>ご関係の方はご起立いただき、その場で代表に合わせてご一同様に拝礼下さい。」</p> <p>「以上で玉串奉奠を摂り納めました。」</p> <p>「神職が御神酒の蓋を閉じ徹します」</p>
一、撤饌	「神職が御神酒の蓋を閉じ徹します」
一、昇神の儀	<p>(神職が神前にて二度お辞儀をした頃)</p> <p>「ご一同様、ご起立の上ご低頭下さい。」</p> <p>(神職の警蹕「おおー」の後)</p> <p>「おなわりの上ご着席下さい。」</p>
一、閉式	「以上を以て地鎮祭、滞りなく納められました。」
一、直会	「引き続き直会を行います。お手元に杯が引き渡りますまで今しばらくお控え下さい。」

「それでは、乾杯のご発声を
お願いいたします。」
様に

お祭りの流れ 及び 祭典趣旨

地鎮祭とは

古くは神代の時代にまで遡る日本文化の一つです。

約一三七〇年前に持統天皇が地鎮祭の祭祀を行っていたことが「日本書紀」に記録されています。

建物の新築や各種土木工事の開始に伴い、その敷地を守る氏神様や土地神様にご報告申し上げ、神慮を戴き、平安堅固を祈願し祈禱を行うものです。

現代においては、神様を現地へお招きし、建築に係る工事関係者一同の安全と滞りのない施工を一同が信じていると願うことで進むべき道を全員が確認し、また完工以降住まいする者や商いを行う者に遠い子孫に至るまでの繁栄を祈願祈禱いたします。

確認事項

神酒二升のお供えを戴いております。

古式に倣い、鎌が施主、鍬が施工です。（但しこれを逆としても可）

玉串奉奠の人数は事前にご連絡下さい。また、式の中で神職が参列者様のお名前を読み上げ案内するには順序がわかりませんので、司会進行や参列者様同士で事前協議をお願いいたします。

祝詞で読み上げます参列者様のお名前の読み仮名・現地地図等を二・三日前までにFAXでお知らせ下さい。

テント・縄・祭場の足場パネルなどご配慮手配下さい。

令和元年 五月八日

この「地鎮祭 式次第（春日神社編）」はホームページでも見られます。



春日神社

増泉二一〇一

電話 076-241-0701

FAX 076-241-0713

禰宜 田中 正真
ねぎ たなか まさなお